



笑う門には 福来たる

(株)日本交通社
発行人 光田秀之
☎089-946-3911

つねに前道
つねに前道
つねに前道
つねに前道
つねに前道
つねに前道
つねに前道
つねに前道
つねに前道
つねに前道



坂村真民記念館 (砥部町)

明朗・愛和・喜働

鏡餅

正月に鏡餅を飾った家庭も多いでしょう。鏡餅は新年の神様である「年神様」の依代としての供え物です。

餅の形が古代の銅鏡に似ていたことから「鏡餅」と呼ばれるようになりました。大小の餅は月と太陽を表わし、徳福が重なるようにとの意味が込められています。また、榎を上に乗せるのは家が代々と繁栄するように願いが込められています。

「鏡開き」は供えていた鏡餅を下げて、一年の健康を願って家族で食する行事です。「割る」という言葉は縁起が悪いので「開く」と表現されます。

「つぎつぎに子ら家を去り鏡餅」は加藤秋邨の俳句です。子供たちが次々と家を出ていき、今はただ鏡餅とともに正月を迎えているのでしょうか。

『源氏物語』「初音」の巻には光源氏が正月に紫の上のもとを訪れた時に、女房が「わが君の千年の栄を鏡餅に祈っていました」という場面が描かれています。

鏡餅は単なる飾りではありません。物には神様の魂が宿り、また心を象徴するという日本の伝統が表われたものなのです。

◆日本の伝統を知りましょう

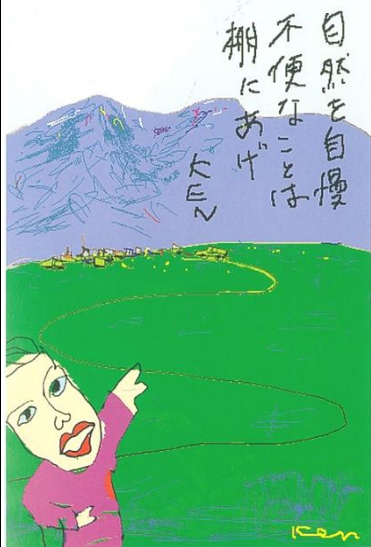
「職場の教養」より

日本平山頂「赤い靴母子像」(静岡県静岡市)

赤い靴の女の子は「異人さん」に連れられて、横浜の埠頭から船に乗って遠い国に行ってしまった…。母と娘の離別を歌った童謡『赤い靴』にはモデルがあり、娘の名は、岩崎きみといった。この母子の故郷である日本平で2人を再会させたいという思いから募金運動が盛り上がり、1986(昭和61)年に母子の像が建立。出生の地である清水区を見下ろせる日本平山頂に手を取り合うようにして建っており、碑には童謡の歌詞が刻まれている。



日本再発見!



八木健の
山
柳
ア
ー
ト

今日のはかけがえのない一日

今日をどう生きるかは自分次第。今が最良の時と心得て、やるべきことに喜んで取りかかろう。

